

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ナブテスコ株式会社（証券コード:6268）

【変更】

長期発行体格付 A → A+
格付の見通し ポジティブ → 安定的

【据置】

国内CP格付 J-1

■格付事由

- (1) 制御装置の大手メーカー。精密減速機、油圧機器、鉄道車両用機器、航空機器、商用車用機器、船用機器、自動ドア、包装機など多角的に事業を展開している。手掛ける製品の多くはモーションコントロールを支える基幹部品であり、それぞれがニッチな市場にありながら高い競争力を有する。製品販売のみならず、メンテナンスや修理などを手掛ける MRO (Maintenance Repair Overhaul) ビジネスも展開する。
- (2) 収益源が分散している上、需要変動の小さい MRO ビジネスが業績を下支えしており、不況時にも底堅く利益を稼ぎ出せる収益構造を構築している。また主力の精密減速機事業を筆頭に多様な分野で収益力の強化が進んでおり、中期的にもその方向性を維持出来ると想定される。財務構成は良好である。今後も健全な財務基盤を維持出来る見込みである。以上より格付を1ノッチ引き上げた。格付の見通しは安定的である。
- (3) 22/12期営業利益は210億円の見通し。原材料費高騰などにより、過去最高益となった21/12期300億円からは減益となる見込みである。ただ足元の受注は堅調である上、価格転嫁が順次進む見込みであることから、23/12期営業利益は増益に転じる可能性が高い。引き続き自動化・省人化ニーズの高まりによる産業用ロボットの需要増加が予想される中、24/12期以降も精密減速機事業を中心に収益力の強化が進むと見られる。
- (4) 22/12期第3四半期末親会社所有者帰属持分比率は60.8%と良好である。自己資本は2,519億円と、直近10期間程度で見ても2倍以上となっている。また、長期にわたり実質無借金状態にある。中期経営計画（22/12期～24/12期）では、浜松工場建設などを中心に高水準の設備投資が計画されている上、M&Aを含む成長投資にも取り組む方針である。ただ、手元流動性の厚さやキャッシュフロー創出力などから見て、当面も強固な財務体質を維持可能と見られる。

（担当）里川 武・外窪 祐作

■格付対象

発行体：ナブテスコ株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年11月10日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「機械」（2011年12月7日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） ナブテスコ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与
本件信用格付の付与に係る手続きには格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル